



# CAREビジョン2030:

貧困削減と公正な社会実現に向けて  
集团的な力を発揮

## はじめに

世界人口の40%以上が極度な貧困状態にあった1980年代以降、貧困対策に多大な努力を払った結果、現在の数値は9%をわずかに上回る水準にまで減少しています。しかし、深刻化する気候危機や新型コロナウイルスの世界的大流行(パンデミック)の影響を受けて、何百万人もの人々が再び極度の貧困状態に陥る恐れがあり、その中で不平等の格差は拡大し続けています。

貧困は、一次元的な現象ではなく、多角的で複雑なものです。良質な食糧や水の不足、慢性的な失業、紛争、質が劣る教育、異常気象の影響、脆弱なインフラなど、貧困の影響は、広範囲にわたり、しばしば相互に関連しています。これらの影響は、深く根付いた植民地支配と家父長制の権力システムに起因しており、援助・開発・ドナー体系もその中で機能していることを認識することが重要です。

現在の データや将来の予測 は、深刻な状況を示唆しています。世界人口の4分の1近くが1日3ドル20セント以下で生活しており、2021年には世界中で 2億3,500万人もの人々 が緊急人道支援を必要とすると予測されています(2020年12月時点)。本レポート作成時点で 1億4,200万人を超える人々 がIPC 3(危機)以上に分類される「飢餓のホットスポット」(飢餓に陥る可能性のある場所)で生活しており、この数は日々増加しています。

カバー写真: コートジボワールのジャンヌ・セコンドさん。彼女は「トウモロコシの偉大な女性生産者」を意味する農業組合の代表です。7人の子どもの母親でもあるジャンヌ・セコンドさんには、威厳があり、何が重要なのかについて正確で明確な考えを持ち、18,000人の女性組合員を率いています。ジャンヌ・セコンドさんは、CAREの「女性起業家育成事業」に参加し、H&M財団の支援を受けて、この事業に参加する女性のロールモデルとなりました。彼女はコートジボワールの北部地域を旅しながら、他の意欲的な女性起業家に良い刺激を与え、支援の手を差し伸べています。

新型コロナウイルスのパンデミックは、第二次世界大戦以降、前例のない世界的な経済危機を引き起こし、さらに 1億5,000万人 が極度の貧困状態に追い込まれ、また、1億1,400万人 が移動制限や都市封鎖の影響で職を失っています。

所得水準と紛争とは直接的な相関関係があるわけではありませんが、経済が不安定な時期には暴力が発生する可能性が高く、ジェンダーに基づく暴力(GBV) も増加しており、圧倒的多数の女性や女子が影響を受けています。

このような危機の影響が女性や女子に及びやすい、といった不均衡な点を踏まえると、ジェンダーの平等と包摂性が達成されて、はじめて貧困削減や社会正義の実現が可能であることが示されています。最近の歴史を振り返ると、私たちの集團の最前線(第一対応者、供給者、介助者、活動家、指導者)は、女性が多いことがわかります。女性にリーダーシップをとる機会が与えられた際に、彼女たちは素晴らしい成果を成し遂げました。しかし、多くの場合、意思決定の場に女性の声は存在していません。

### CAREが焦点を当てて力を注ぐ分野

ケア・インターナショナルの献身的なスタッフがそろったチーム、そしてパートナーの幅広いネットワークは、ジェンダーに配慮した貧困削減において、75年にわたるコミュニティとの協力関係から得られた世界水準の専門知識を提供しています。これは、貧困の根本的な原因を理解し、地域主導の革新的な解決策を見つけ、それを拡大するために協力してきた経験から得られたものです。

ケア・インターナショナルのネットワークは、集団での学びを取り入れており、この分野での影響測定において主導的地位を築いてきました。ビジョン2030では、前回の戦略期間で得られたエビデンスに基づき、かつ、外部のトレンド分析や様々な専門家グループとの対話をもとに、持続可能で体系的な変化を広い範囲で実現するために、どのような貢献ができるか、またそのための運営モデルや体制をどのように整備していくのかにとりわけ焦点を当てています。

私たちが目指しているインパクト達成に向けては、自身の組織や働き方を変革し続けなければ実現できないものも含まれることを認識しています。また、貧困をなくし、ジェンダー平等や社会正義の促進を図るために効果的に闘うためには、反人種差別主義であることを積極的に示す姿勢が必須であるという認識も含まれています。

ジェンダー平等およびパートナーシップは、私たちのビジョンとミッションの中核をなすものです。将来を見据えながら、私たちは自らを変革し続け、パワー・ダイナミクスを再構築し、CARE内部、そしてより広範な援助・開発システムにおいても、さらに緊密な相互関係を促進します。

ケア・インターナショナルのネットワークに所属する私たち全員が、貧困は不当であり、貧困は解決可能であり、共に貧困を終わらせる力を持っているという確固たる信念に基づいて活動しています。



ネパールのダンガディ近郊の村で毎月開催される妊婦の健康集会で、地域保健員のガンガ・デヴィさんが、女性のグループに新生児の体重を測定する方法を実演

CARE/Kate Holt

## 「CARE」はどのような組織なのか？

ケア・インターナショナルは、独立した各国組織のグローバルなネットワークで、CAREのメンバー、候補メンバー、関連団体、社会的事業、そしてコミュニティに基づいた何千ものパートナー組織が、命を救い、貧困に終止符を打ち、社会的不正と闘うために100か国以上で協力しています。

### 私たちのビジョン

私たちは、貧困のない、すべての人々が尊厳をもって安心して暮らせる、希望に満ちた、包摂的で公正な世界を目指します。

### 私たちのミッション

人々の命を守り、貧困をなくし、公正な社会を創ることを使命とします。

2020年、CARE年とパートナーは、世界104か国で活動し、貧困撲滅を図る1,349の開発・人道支援事業やイニシアチブを実施し、9,230万人に直接支援を行い、そのうち73%が女性でした。CAREは、アドボカシー活動や、成功した事業、コミュニティ主導のイノベーションの拡大を通じて、さらに4億3,340万人に対し支援を実施しました。

規模と再現性に関するグローバルな専門知識とリソース、一連のツールと成功事例に基づくアプローチ、地域およびグローバルな影響力のあるチャネルへのアクセスを備えたケア・インターナショナルは、世界の開発課題と政策の形成において高く評価されており、積極的に発言しています。また、貧困削減に向けて、実践的、革新的かつ持続可能な解決策の原則と実績に基づいた指針を活用しています。

### 私たちのプログラムの原則

#### エンパワメントの促進

私たちは、貧困の中で生活する人々と連帯し、自ら生活をコントロールし、権利、責任、願望を果たすための努力を支援します。私たちは、貧困の中で生活する人々、特に女性や女子を代表するプログラム参加者や組織が、事業実施のすべての段階においてパートナーであることを保証します。

#### パートナーとの協働

私たちは、事業による効果を最大限に高めるよう努めています。これによって、権利の充実や貧困削減に責任を持つ人々や組織との提携やパートナーシップを構築し、補完的なアプローチの提供に加え、効果的な解決策の拡大が可能で、政策の変更や実施を図ります。私たちは、既存の能力を代替するのではなく、支援し、強化する方法で活動することにコミットします。

#### 説明責任を果たすことで責任感を強化

私たちは、サービスを提供する人々や協働するパートナーが説明責任を果たす方法を模索しています。そして、貧しい人々や社会から取り残された人々に対して義務を負う個人や組織を特定し、その責任を果たすための努力を支援・奨励します。

### 差別問題への対処

私たちは、事業およびすべての活動において、性別、人種、国籍、民族、階級、宗教、年齢、身体能力、カースト、意見、性的指向などに基づく差別や権利の否定に対して、取り組んでいます。

### 持続可能な結果の追求

私たちは、貧困や権利を否定する問題の根本的な原因に対処すべく、支援する人々、特に女性と女子の生活を永続的かつ根本的に改善するアプローチを開発し、活用しています。私たちは、環境的、社会的、制度的に持続可能な変化をもたらす

ために活動しています。

### 害悪を及ぼさない

私たちは、事業の意図した、あるいは意図しない影響を分析した上で誠実な学びを奨励し、意図せざる害悪を防止・対応する行動を起こします。私たちは、すべての事業において、ジェンダーに基づく暴力の防止と対応策に関し、特に重点をおいています。

私たちは、事業だけではなく、私たちが行うすべての活動において、これらの原則に沿った行動をとることに責任を持ち、他の人々にも協力を求めます。



LGBTQ+の人々は、仕事や生活の機会を得る際に困難を抱える場合が多く、一般の人々に比べて失業しやすい上、貧困に陥りやすいといわれています。CAREは、パートナーのアレクサンドラ(左)と暮らすトランスジェンダー男性のアンディ(右)が、エクアドルで新型コロナウイルスの影響で仕事を探すのに苦労していた際、小規模ビジネスを立ち上げるのを支援しました。

©CARE/Ana Buifron

## 貧困と不平等に対するCAREの取り組み

### ジェンダー平等と 女性や女子の具体的な権利に焦点

CAREの専門性は、貧困と不平等に取り組むための包括的かつ全体的なアプローチにあります。私たちは、貧困に苦しむコミュニティと権力者をつなぐグローバルな存在です。弱者の声を高め、組織の多様性と学びを活用して不平等に取り組む、持続的なインパクトをもたらします。

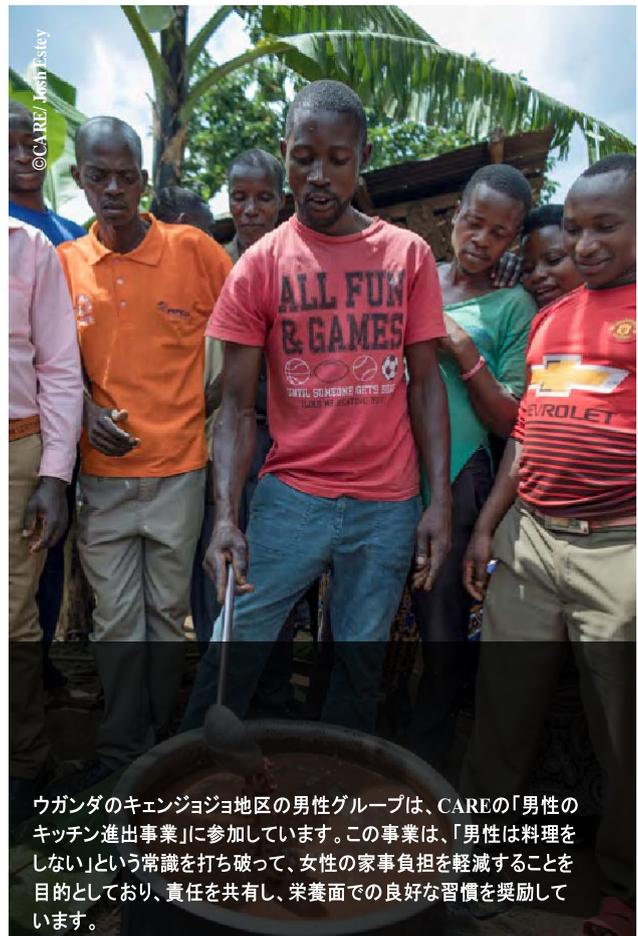
ケア・インターナショナルは、あらゆる年齢、背景、ジェンダーの人々とともに活動していますが、世界の最貧困層の約70%は女性です。女性と女子は、男性とは全く異なる形で、貧困、苦難、気候、紛争、健康上の緊急事態を経験しており、普遍的には存在しない特殊なアプローチを必要としています。

ジェンダーの不平等は、貧困の主な原因であると同時に、最も広範な不平等の形態の一つでもあります。ただし、女性へのエンパワメントが行われた場合、コミュニティが一体化することが実証されています。真のジェンダー平等は、人種や障害など、特定のグループの女性がさらに不利になる可能性が存在するといった課題を含んでいますが、ひとたび解決されれば、より規模が大きく持続可能な繁栄をもたらす、より広い範囲に影響を与えることができます。

CAREは、女性と女子の特別なニーズと権利を、私たちが行うすべての活動の中心に位置づけています。それは、貧困削減を図るCAREの実践的なアプローチと、多様なグローバルネットワークとして獲得した特定の技術的専門知識の両方に反映されています。また、ジェンダー平等と女性のエンパワメントに根ざした組織としての私たちのアイデンティティの重要な部分を占めています。変化がなければ、貧困とジェンダー不平等の不公平が続き、危機に対する脆弱性が悪化します。

### 変化の3つの側面に対する取り組み

CAREでは、有意義で持続的なインパクトを大規模に与えるために、貧困と不平等の根本的原因に取り組む必要があると考えています。この枠組みを用いてジェンダー平等を推進してきた10年の経験に基づき、これは3つのレベルでの取り組みによってのみ可能となります。それは、組織、人と人とのつながり、構造といった3つのレベルでの取り組みによる実現です。▶



ウガンダのケンジョジョ地区の男性グループは、CAREの「男性のキッチン進出事業」に参加しています。この事業は、「男性は料理をしない」という常識を打ち破って、女性の家事負担を軽減することを目的としており、責任を共有し、栄養面での良好な習慣を奨励しています。

## 組織の構築:

CAREは、個人の意識、自尊心、自信、自分の世界を変えたいという願望を高めるために、個人と協力し、その目的を果たす知識、スキル、能力を提供します。

## 関係の変化:

周囲の人々が支援してくれれば、変化はより定着しやすくなります。CAREは、親密な関係、家族、社会的・政治的ネットワーク、市場、コミュニティや市民グループなどでも根強く残る不平等に対処するために活動しています。

## 構造の変化:

差別や排除は、法律や政策だけでなく、社会的な規範や慣習によっても行われています。これらは、異なるジェンダーの人々がどのように行動し、社会的、経済的、政治的な領域に参加する際に期待される点に影響を及ぼしかねません。CAREは、差別的な法律に反対の声を上げ、差別をなくすための新たな法律や政策を提唱し、コミュニティや権力者と協力して、不平等を永続させる規範や慣行に対する批判を反映させ、変革を推進します。

この3つのレベルでの取り組みに変化がなければ、貧困とジェンダー不平等の不公平が続き、危機に対する脆弱性が悪化します。

## 有効なものを拡大し、継続的に実施

CAREは、私たちが直接活動しているコミュニティを超えて、変化に対するインパクトを及ぼすことを目指しています。大規模なインパクトを及ぼすための効果的な戦略に関するエビデンスに裏付けられた学びに基づき、今後10年間においては、以下が重点課題となります。

**実績のあるモデルを、CAREやパートナーを通じて直接的に、また政府やその他の同盟国との間で間接的に拡大・適応**

実績のあるモデルの例としては、CAREの「村内貯蓄貸付組合 (VSLA)」、「コミュニティ・スコアカード」、「迅速なジェンダー分析」、「社会分析と行動」などが存在。貧困者や社会から疎外された人々の権利を実現する義務を負う機関に対して、制度の強化と社会的説明責任を追求。

コミュニティとの対話や、メディアキャンペーンなどを通じ、規範の変化をもたらす介入を実施し、経済、社会、政治の各分野で**害悪をもたらす規範への取り組み**

政府やその他の権力者の政策、プログラム、予算、およびそれらの実施方法の変更に影響を及ぼすための**アドボカシー活動**

貧困者や社会から疎外された人々の権利を実現する義務を負う機関に対し、**制度の強化と社会的説明責任の追求**

招集者、同盟者、資源のパートナー、増幅的機能を果たす人々を、**社会運動**、組織、その他の排除されたグループの代表者として**支援**

経済的にも環境的にも持続可能で、労働者の権利を擁護し、貧困層や社会から疎外された人々を受け入れる**包摂的な市場ベースのアプローチ**

## 私たちのパートナー

CAREは、貧困の影響を受けた環境、脆弱な状況、紛争の影響を受けた状況、緊急事態の発生時に活動しています。私たちの人道支援活動は、最も支援が必要な人々に確実に手を差し伸べるという原則に基づいています。

CAREとそのパートナーは、移民、難民、国内避難民、不法就労者など、弱い立場にある人々や、小規模農家および農業従事者など、気候変動の最も深刻な影響を受けている人々と協力しています。ジェンダーの平等をすべての活動の中心にすえ、民族、人種、障害、健康状態、カースト、宗教、年齢、階級、職業、歴史、性的指向、ジェンダー・アイデンティティ、意思表示などの理由で社会から疎外されている人々を支援しています。

今後10年間で、気候変動に加えて、人々のニーズに影響を与える2つの重要なトレンドが存在します。

まず、世界には前例のないほど多数の若者が存在し、10歳から24歳までの人口は約18億人にのぼります。低所得国では若者の人口がさらに増加すると予測されています。次に、世界的に都市化進行も挙げられます。2050年には、世界の人口の3分の2以上(68%)が都市部に住むようになると推定されています。都市部に住む人々の3人に1人弱がスラム街に住んでいます。

今後10年間、CAREは、2030年の目標を達成し、進化する全世界の人々の変化するニーズに応えるために、若者と都市部の貧困層の両方との活動を発展・深化させる方法を模索していきます。

### ショートフィルムコンテスト

「WhyStop」の一環として、CAREカンボジアは、全国的なロードショーを行い、50の学校、大学、若者グループを対象に、セクシャル・ハラスメントについて講演しました。そして、1,000人の若者が、セクシャル・ハラスメントをなくす理由についてのオリジナル映画づくりに参加しました。映画「WhyStop」は現在、より多くの学校で上映されており、教師が生徒にこの問題について会話する機会を持つ完全なパッケージも用意されています。教育省は、全国的に授業の時間割りにもこの映画上映を含めています。



## 2030年に向けた私たちの目標: 希望、包摂性、社会正義のある世界

CAREは、持続可能な開発目標(SDGs)を達成するため、貧困削減と社会正義の分野で大規模かつ持続的なインパクトを及ぼすことに貢献しています。私たちの活動は、「貧困をなくそう」(SDG 1)達成に向けた支援を目的としていますが、「ジェンダーの平等」(SDG 5)は、私たちのプログラムの目標で中心的な部分に位置しており、活動全体に反映されています。

CAREの6つのインパクト分野は、貧困をなくすという私たちの全体的な目標達成の原動力となっています。私たちがこれらの特定したインパクト分野に焦点を当てる理由は2つあります。第一に、貧困をなくす上で、これらの分野が深刻な障害となっているからです。第二に、これらの分野は、CAREのグローバルなネットワークのあらゆるレベルで世界クラスの専門知識を培ってきた分野であるからです。

### SDG 1 – 貧困をなくそう

#### 2030年における私たちの全体的な貢献

CAREとそのパートナーは、最も脆弱で疎外されたコミュニティに属する2億人の人々が、貧困と社会的な不公正を克服できるような支援にコミットします。

#### SDG 4および5

##### ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダーの不平等が続いている限り、貧困をなくし、公正な社会を実現することはできません。女性に対する差別は、世界の安全保障や開発、経済的パフォーマンス、健康、ガバナンス、安定など、広範囲に悪影響を及ぼします。

#### 私たちの2030年の目標:

ジェンダーに基づく暴力(GBV)の排除、女性と女子の発言力改善、リーダーシップ、教育の向上に特に重点をおきながら、5,000万人の女性と女子により優れたジェンダー平等を経験してもらうこと。

#### SDG 1、5および11

##### 危機対応

CAREは、ジェンダーを活動の中心に位置づけることで、人道的な分野の変革のリーダー的な役割を果たしています。私たちは、人々の尊厳を守り、緊急事態の発生前、発生中、発生後にコミュニティの回復力と社会的結束力を高める特有のアプローチを用いています。私たちの中核となる人道支援部門であるシェルター、水・衛生・トイレ(WASH)、食糧、性と生殖に関する健康および権利は、常にジェンダーの平等と人命救助支援の両面で貢献することを目指しています。

#### 私たちの2030年の目標:

CAREは、現地のパートナーと協力して、大規模な危機に見舞われた人々の10%に、質の高い、ジェンダーに焦点を当てた人道的支援を提供し、2030年までに少なくとも5,000万人に支援を届けます。

## SDG 2、5および6 飢餓をゼロに

世界では、すべての人が食べられるだけの食糧を生産しているにもかかわらず、多くの人が飢えに苦しんでいます。CAREでは、女性の小規模農家が世界の食糧生産に欠かせない存在であるにもかかわらず、男性の農家と同じようリソースを得ることができないことを認識しています。私たちは、女性の農家が世界に食糧を供給できるように支援することに重点をおいています。

### 私たちの2030年の目標:

7,500万人が適度な食糧、水、栄養に対する権利をよりよく行使できる環境づくり

## SDG 5および8 働きがいも経済成長も

私たちは、だれもが経済的資源を得る権利と、自分自身や家族、コミュニティのためになる意思決定を行う力を持っていると考えています。それには、女性が経済的資源、資産、機会に平等にアクセスし、コントロールすることが必要であり、また、社会的規範や経済構造を長期的に変化させることも必要であるとCAREは認識しています。

### 私たちの2030年の目標:

5,000万人の女性が、経済資源や機会をより公平に利用し、管理が可能に



40歳のサマーは、シリア北西部の故郷を追われました。彼女は、シリア北西部にあるCAREのパートナー組織の一つである「バイオレット」が運営するアル・アマル病院の新生児室で保育士として働いています。

©CARE/Violet

## SDG 3および5

### すべての人に健康と福祉を

私たちは、だれもが正しい健康と、生殖に関する自己決定の両方を持っていると信じています。CAREの多面的な保健プログラムは、個人、社会、階級的なレベルでの障害に対処するもので、新型コロナウイルスがもたらす継続的な課題に対応するため、伝染病や疾病に関する既存の専門知識を拡大することも含まれています。

### 私たちの2030年の目標: 5

5,000万人の人々が健康への権利を行使できるようになり、そのうち3,000万人の女性が性と生殖に関する健康の権利行使を可能に

## SDG 5、7および13

### 気候変動に具体的な対策を

私たちは、すべての人が健全な地球上で暮らす権利を有すると信じています。気候変動は、既存の不平等を悪化させます。気候変動によって、2030年までにさらに1億3,200万人が貧困に陥る可能性があるとして推定されています。CAREは、包括的かつ公正で、ジェンダーの変革による気候政策と行動に取り組むことで、CAREは気候緊急事態の最前線にいる最も貧しく取り残された人々、特に女性と女子の回復力を強化することを目指しています。

### 私たちの2030年の目標:

2,500万人の貧困層や社会から取り残された人々、社会から取り残された人々、特に女性と女子の気候変動による影響に対する回復力と適応能力を強化

私たちはこれらの目標を単独で達成することはできません。この戦略期間中にCAREは、持続可能な開発と人道支援のためのパートナーシップに対する既存のアプローチを深化させ、現地の女性指導者と女性運動の拡大に重点をおいています (SDG 17)。

## ケア・インターナショナルにおけるパートナーシップの定義

ケア・インターナショナルのパートナーシップの中心にあるのは、貧困と社会的不公正 (特にジェンダー間の不平等と不公正な力関係) に対処するという私たちの目標です。パートナーシップとは、相互の信頼、平等と学びに基づく目的のある関係であり、共有するビジョン、すべての当事者に対する明確な説明責任を持ち、関係する当事者の補完的な力を活用して、特定の目的、課題、機会について協力し、単独で達成するよりも大きなインパクトを与える方法です。

## 2030年のCARE: 変化する環境の中でネットワークを進化

CAREが設立された75年前と比較すると、数十年で市民社会は大きく進化しました。地政学的、経済的な変化に加え、デジタル技術の台頭により、機会と圧力の両方が生じています。

一方で、このようなトレンドは、世界中で何百万もの市民社会組織の設立に拍車をかけ、地域主導の活動と実施の活発なグローバルコミュニティを生み出しています。他方で、規制や報告義務の強化、スタッフに対するハラスメントや暴力の脅威などが報告され、市民社会のスペースは縮小しています。

十分に確立され、高度なつながりを持つ国際ネットワークとしてCAREは、すべての市民社会関係者が進路を決定するこの複雑な新しい世界で重要な役割を果たしています。ただし、私たちはその役割が変化する必要があることを認識しています。私たちが共通の目標を達成するためには、規模の大小を問わず、市民社会が団結し、平等な立場で立ち上がるのが重要です。

CAREでは、これが市民社会の強化に向けてより重要かつ支援的な方法で投資することを意味しています。例えば、招集者、同盟者、増幅的機能を果たす人々、資源パートナーとして行動することです。私たちに、影響を与え、変化をもたらし、それを加速させる方法で、「新しい力」の動きを「古い力」と結びつける、橋渡し役としての重要な役割があります。

これを効果的に行うために、私たちは組織内のシステムや業務の進め方を変えていきます。私たちは、CAREのような国際的で主に「北」から資金提供を受けているNGOが、より広範な植民地的・家父長的なシステムの中に位置していることを認識し、自分たちの地位と権力について考え続けます。私たちは、緊張関係を特定し、意図して対話を深めていきます。それは、CAREの内部や他者との関わりの中で、不平等な力関係を理解しながら対処することを、率直かつ継続的に求めることも含みます。

学び続ける組織として、CAREのデータは、私たちの戦略、意思決定、行動に反映されます。私たちは、SDGsへのグローバルな貢献を測定・監視できる複数の業務を展開する数少ない国際非政府組織(INGO)としての地位を確立し、事業やアドボカシーに反映させるために、データからの学びを導き出していきます。将来的には、イノベーションと機敏性、透明性と学びに焦点を当て、気候変動に一段と配慮した組織になるための解決策を追求していきます。

\*本書の和訳は、ボランティアの石崎敏明様にご協力をいただきました。